

## ●佐伯市のいちご産地の紹介

大分県の一番南に位置する佐伯市は、温暖な気候を活かした施設園芸が盛んな地域です。大分県のブランド品種である「ベリーツ」の作付けが拡大しており、全国の市場から高評価を受けています。労力面では、パック詰め簡素化（バラ詰め等）で生産者の労力軽減体制も確立しました。

就農するにあたっては、いちご栽培の技術や経営をベテラン農家のもとで研修する「佐伯市ファーマーズスクール」を設置・運営しており、2年間での新規就農者の育成を図っています。品種は「ベリーツ」を学びます。

- ・高設栽培システムを使い、腰の高さでの収穫が可能のため、体への負荷が小さいです。
- ・いちごのパック詰め作業が忙しく、夏は、比較的時間に余裕がありますが、苗管理が必要です。

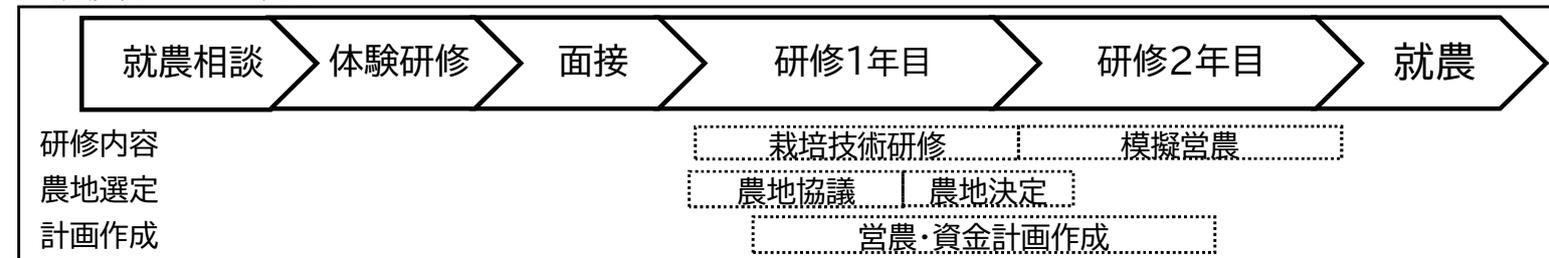
『農業未経験のあなたでも大丈夫！』部会、JAおおいた・佐伯市・南部振興局の関係機関が主軸となってサポートします。



## ●いちご栽培スケジュール

品目名/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いちご	収穫					片づけ		定植			収穫	
						育苗管理						

## ●就農までの流れ



## ●経営目標

### 就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・いちご 22a 10.3t(4.7t)

販売額・所得

・販売額 1,519万円・所得 453万円

従事者

・家族 2人・雇用 1人 (2月～5月)

### 就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・いちご 22a 10.3t(4.7t)

販売額・所得

・販売額 1,519万円・所得 478万円

従事者

・家族 2人・雇用 1人 (2月～5月)

5年間で技術確立

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

## ●モデル経営体の紹介

氏名 黒岩 仁明

経営概要

- ・面積23a 単収6.3t 販売額1,700万円  
(部会トップクラスの単収)
- ・構成員2名(臨時雇用2名)
- ・就農8年目
- ・販売出荷先 JA共販

メッセージ

- ・新しい生産仲間、待っています。



## ●私たちがサポートします ~技術習得から就農までのサポート体制~

JAおおいた南部エリア佐伯苺生産部会

部会員数：29戸

面積：6.79ha 販売額：4.1億円(令和5年実績)

就農コーチ：6名

【活動】

- ・技術向上のため、会員によるハウス巡回。栽培講習会



## ●佐伯市の支援策

- ・佐伯市ファーマーズスクール  
研修期間2年、就農コーチの圃場での実習、  
模擬経営(2年目)、座学(月1回)
- ・移住等の支援  
研修期間中の家賃を助成(1万円/月)  
移住応援給付事業補助、空き家購入補助、  
空き家改修補助、家財処分補助
- ・子育て支援  
さいきっ子医療費助成事業  
満18歳となる年度末までの入院・通院・  
調剤にかかる医療費(健康保険適用分)の  
自己負担分を全額助成

## ●産地が求める人材

- ・農業に対する情熱があり、コミュニケーション能力があること
- ・就農コーチや関係機関からの助言、指導を聞き入れることができること
- ・佐伯市ファーマーズスクール実施要領の研修生の要件を満たす方
- ・研修生の1組2名程度募集

※市全体の研修希望者数により調整あり

## ●問い合わせ先

JAおおいた南部営農経済センター(佐伯)  
〒876-0813 佐伯市長島町1-2-4  
TEL:0972-25-1231  
FAX:0972-25-1241  
ホームページ:<https://jaoita.or.jp/>

佐伯市役所 農政課 園芸振興係  
〒876-8585 佐伯市中村南町1-1  
TEL:0972-22-3239  
FAX:0972-22-3477  
メール:[engeisinkou@city.saiki.lg.jp](mailto:engeisinkou@city.saiki.lg.jp)  
ホームページ:  
<http://www.city.saiki.oita.jp>

